

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年8月16日 (2012.8.16)

【公開番号】特開2011-206990(P2011-206990A)

【公開日】平成23年10月20日 (2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2010-75747(P2010-75747)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 19/20 (2006.01)

B 4 1 J 13/00 (2006.01)

B 6 5 H 5/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 19/20 C

B 4 1 J 13/00

B 6 5 H 5/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月28日 (2012.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

なお、図 1 8 , 図 1 9 で説明した例は、表 1 の条件 [2] に該当するものである。図 1 7 で説明した 2 行 × N 列のノズル配列に対して、相対振動周期 P_vとオフセット量 O_{Sy}の関係が表 1 の条件 [1] となる場合の描画結果の例を図 4、図 5 に示す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

また、図 2 0 で説明した 6 行 × N 列のノズル配列に関して、表 1 の条件 [1] に相当する場合の描画結果を図 6、図 7 に示す。（なお、図 2 1 , 2 2 は表 1 の条件 [2] に該当するものである）

良好な条件 [1] に該当する図 5、図 7 では、図 1 9、図 2 2 に見られた振動ムラが低減していることが分かる。なお、比較のために、ここでは相対振動の片振幅は同じく 5 μm であり、相対振動の周期を 500pix = 10.6mm とした。